

チャペル週報

No.17

2018.10.8 ~ 10.12

そればかりでなく、苦難をも誇りとします。

わたしたちは知っているのです、

苦難は忍耐を、忍耐は練達を、

練達は希望を生むということを。

希望はわたしたちを欺くことはありません。

わたしたちに与えられた聖霊によって、

神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。

(ローマの信徒への手紙 5章3～5節)



西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

10月8日(月) 神 賛美歌③ Christian Triebel (神学部助教)
経 特別音楽チャペル
大 江 千 里 (1984年経済学部卒:シンガーソングライター、ジャズピアニスト)
人 音楽チャペル 聖歌隊
理 前 川 裕 (宗教主事)
聖和 聖書物語「五つのパンと二匹の魚」

10月9日(火) 神 臨床牧会実習報告 田代 麻里江 (神学研究科M1)
文 音楽チャペル ゴスペルクワイア "P.O.V."
社 音楽チャペル 聖歌隊
法 カミール・アンデロス・ジュゴ
(カトリック・フィリピン・カピス大司教区社会活動部・アジア保健研修所修了生)
経 宗教総部
商 井 上 智 (神学部助教)
国 岡 秀 和 (ヒューマン・サービス支援室ボランティアコーディネーター)
理 KSCハンドベル&アンサンブル
総 榛 木 恵 子 (社会福祉法人 聖和共働福祉会理事長)
教 梶 原 直 美 (宗教主事)

10月10日(水) 院 Andreas Rusterholz (文学部宗教主事)
神 森 泰一郎 (神学研究科M1)
社 熊本地震現地ボランティア報告
岡 秀 和 (ヒューマン・サービス支援室ボランティアコーディネーター)、
参加学生有志
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
商 氏 家 雄 太 (言語コミュニケーション文化研究科M2)
人 藤 井 博 志 (人間福祉学部教授)
理 前 川 裕 (宗教主事)
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
教 高 田 正 久 (聖和短期大学教授)

10月11日(木) 神 「震災を覚えて」礼拝⑦ 神学部メガホンプロジェクト
文 永田 雄次郎 (名誉教授)
社 「よりよい社会」とは?④ 島村 恭 則 (社会学部教授)
法 Gabriele Hadl (社会学部教授)
商 Chapel in English Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
国 Chapel in English Eun Ja Lee (宣教師)
総 李 政 元 (総合政策学部教授)
聖和 幼稚園・保育所実習をふりかえって

10月12日(金) 神 高 陽 鐘 翼 (交野教会牧師)
文 Chapel in Englisch Andreas Rusterholz (宗教主事)
人 大 熊 省 三 (人間福祉学部准教授)
理 前 川 裕 (宗教主事)

◇ランパス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40 ランパス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原)
10月12日(金) 法学部のために 岡野 祐子 (法学部長)

関西学院大学体育会モットー“NOBLE STUBBORNNESS” — どこまでもノーブルに！ ひたすらにスタボーンに！ —

岡田 太志

関西学院大学体育会は、1912年に武芸会、庭球会、野球会、端艇会の4部で学生会運動部として産声を上げました。爾来時代による名称の変更など紆余曲折を経ながらも着実な発展を遂げ、現在、42部(64チーム)、約2500名の会員で構成されるに至っています。

今年4月に体育会長を拝命し、関連行事や各部の記念式典・総会等に参加させていただく機会に恵まれました。そして改めてふたつの気づきがありました。ひとつは、体育会42部は、それぞれの競技において、時にわが国のあるいは西日本のまさに「最初の一人として」その草創期を精力的に担い、その競技の普及と発展に献身的に尽力され、競技とともに歩み、競技の歴史を紡いでこられたということです。42部には、上記の古い部から、創設30年という関学の中では若いラクロス部までありますが、こうした特徴は、各部や競技の歴史を伺い紐解くと、共通しているように思えます。また、こうした歴史と伝統は、海外で生まれた競技のわが国への移入、また海外への紹介という観点からも、関学体育会が当初から進取の精神に溢れ、海外に目を向けながら触発され、この意味から、スーパーグローバルであったことを示しているように思えます。ふたつ目は、体育会は、Mastery for Service、NOBLE STUBBORNNESSを体現されている諸先輩に恵まれている、そうした卒業生の皆様方に支えられているということです。各部とも、そうした先輩方のエピソードは枚挙にいとまがないように思えます。

改めて、関西学院のモットー、“Mastery for Service”の下、関西学院大学体育会のモットーは、“NOBLE STUBBORNNESS”です。これは、もともと、畑歎三庭球部長(高等学部教授)が1920年に硬式庭球部で示された標語で、その後、体育会全体のモットーとなりました。1977年、総合体育館の傍らに体育会と体育会OB倶楽部(現、体育会同窓倶楽部)のご尽力で建立された“NOBLE STUBBORNNESS”の石碑には、「気品の高い根性」という訳語が添えられています。STUBBORNNESSには、不屈の精神、ねばり強さ、といった時に勝利至上主義にも通ずる意味があります。体育会のモットーには、そこに、高貴な、品位ある、高尚な、といった意味を表すNOBLEという言葉が冠されています。このモットーは時代を超えて今もなお輝き続けています。体育会の皆さんには、このモットーに込められた意味を十分に考え、自己成長の糧とし、挑戦し続けて頂きたい、どこまでもノーブルに！ ひたすらにスタボーンに！と意識し続けて頂きたいと思います。

関学体育会は、伝統的に学業とスポーツの両立、文武両道を追及してきました。2019年度からは、Academic Eligibility for KG Athletes を実施し、制度面からもそれを追及していきます。学業に対しても試合と同じく、苦しい局面においても決して屈することなく、NOBLE STUBBORNNESSの精神で、決して諦めたり、負けたりすることなく、攻めの姿勢を忘れずに、前へ前へと取り組んで頂きたいと願います。

体育会員としての4年間で、自らの中に、Mastery for ServiceとNOBLE STUBBORNNESSをしっかりと醸成され、良き学びと出会いを続けられ、やがて、社会人として、それを体現され、活躍していかれることを期待とともに祈念しています。

(体育会長)

●オルガン音楽の泉 2018 Fall semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひとつ、どなたでもご自由にお楽しみください。

第28回 10月12日(金) 西山 聡子 (本学オルガン講師)

第29回 11月16日(金) 坂倉 朗子 (本学オルガン講師)

第30回 12月5日(水) 桑山 彩子 (京都カトリック河原町教会オルガニスト)

いずれも12:50~13:20[開場12:40予定]

ところ:関西学院中央講堂(125周年記念講堂)

主 催:宗教センター

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。【どなたでもご自由にご参加ください。】

(17:50~18:20 1405教室)

10月主題:「真の共生社会を目指して」

10月11日(木) 舟木 讓 (宗教総主事)

10月18日(木) 嶺重 淑 (大学宗教主事)

10月25日(木) 大宮 有博 (法学部宗教主事)

●関西学院会館の日曜礼拝

授業・試験期間中の第二・第四日曜日(原則)に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。【どなたでもご自由にご参加ください。】

10月14日、28日(日)10:00~11:00

関西学院会館ベーツチャペル

●夕べの祈りatランバス~テゼの音楽とともに~

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。【どなたでもご自由にご参加ください。】

第3回 10月25日(木)18:30~20:00

第4回 1月10日(木)18:30~20:00

ところ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催:夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力:関西学院宗教活動委員会

●第214回ランバス演奏会 クアクレとヴァイオリンによる「ラトビア伝統音楽の調べ」

昨年好評を博しましたラトビアの伝統音楽の夕べ、さらにレパトリーを拡充して開催いたします。ラトビア人は別名「歌う民」。古来より日々の生活、年中行事と冠婚葬祭、めぐる季節や美しい大地を歌で表現し伝えてきました。伝統的な民謡、大切に歌われている合唱曲を、クアクレとヴァイオリンで演奏します。

溝口 明子/クアクレ 秦 進一/ヴァイオリン

と き:11月8日(木)17:00開演

ところ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催:宗教センター <入場無料>

●「リトリート at 千刈」参加者募集

今年も、フランスのテゼ共同体からブラザー・ギランを講師に迎えて1泊2日のリトリート(修養会・黙想会)を開催します。千刈の自然と静けさの中で、一日数回のテゼの音楽を用いた共同の祈り(礼拝)を中心に、ブラザーのお話、グループでの話し合い、個々の黙想の時間などを通して、それぞれが静かに自分を振り返り、また共にいる喜びを再発見し、命を深呼吸させる日々。関西学院が大切にしてきた建学のスピリットに体験的にふれる機会です。ぜひご参加ください。

と き:11月24日(土)13:30~ 11月25日(日)18:00頃まで

ところ:関西学院千刈キャンプ

参加費:学生・院生 2,700円、教職員 4,200円

募集要項・申込用紙の入手先および申込先:

宗教センター事務室(吉岡記念館1階)、聖和キャンパス事務室教育学部担当
(1号館1階)、神戸三田キャンパス事務室(アカデミックコモンズ1階)

申込締切:10月31日(水)の事務室開室時間

問合せ:宗教センター(TEL 0798-54-6018)